

2022年度「日本経営品質賞(推進賞・奨励賞)」3組織を決定 顧客価値経営の実践を通じてありたい姿に向けた変革を推進

(公財)日本生産性本部が設立した日本経営品質賞委員会(東京都千代田区、委員長:福川伸次(一財)地球産業文化研究所 顧問)は、顧客価値経営の実践を通じて変革を進めるモデルとしてふさわしい組織を表彰する「日本経営品質賞」の2022年度受賞組織を発表しました。

「日本経営品質賞」は、国際的な競争力強化に向けた生産性向上を目的に、顧客価値を創造し続けるための自己革新能力を表彰する制度で、1996年度より年一回選出しています。2022年度は、「日本経営品質賞 推進賞」1組織、「日本経営品質賞 奨励賞」2組織、合わせて3組織を決定しました。受賞した3組織は、顧客にとっての価値を最優先に位置づけ、追求しつづける顧客価値経営の実践を通じて、組織のありたい姿に向けた価値づくりのための変革活動を続けています。

■日本経営品質賞 本賞 該当なし

■日本経営品質賞 推進賞

(株)ワイズマート	大企業部門	食品スーパーマーケット	千葉県浦安市	従業員 1,594名
	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏ベイエリアの駅前・駅近の好立地を中心に150坪程度のミニスーパーを38店舗運営。「コンパクトストア」に特化し、小規模ながらも店内で調理された総菜類や、生鮮食品をはじめとするバラエティに富む品揃えを庶民的な価格で提供。 ・店舗の自主性を重んじ、商圈特性や顧客ニーズに柔軟に対応する独自の店舗運営で、坪当たり売上高は同業他社の1.8倍に達する。 ・市場環境の変化によって店舗間や部門間格差が拡大する中、チームによる店舗経営への移行を目指して変革に取り組んでいる。 			

■日本経営品質賞 奨励賞

(株)金沢シール	中小企業部門	シール・ラベル印刷	石川県白山市	従業員 166名
	<ul style="list-style-type: none"> ・1935年、北陸で初となるシール・ラベル専門の印刷会社として創業。医薬品をはじめ、食品・飲料、日用品など多岐にわたる分野で、独自の技術開発や品質にこだわるものづくりに取り組む。 ・社である「生きた商品づくり」を実践すべく、顧客の商品価値を高めるため、川上・川下領域への進出を通じて「商品包装」のインテグレーターとしての地位確立を目指して変革に取り組んでいる。 			
(株)伍魚福	中小企業部門	高級珍味の製造卸	兵庫県神戸市	従業員 69名
	<ul style="list-style-type: none"> ・「高級珍味の伍魚福」をキャッチフレーズに、約400種類の珍味を全国の5,000を超える販売網を通じて提供。全国約200社の協力工場に製造を外注するファブレスメーカーの強みを活かし、毎年100を超える新商品をスピーディーかつ安定的に開発・提供している。チルド珍味分野におけるシェアは9割に達し、高価格帯でも選ばれ続けるブランドとなっている。 ・近年、ESGやSDGsなどが社会的要請として重視される中、「食品業界の良いスパイラルアップの起点となる」ことを目指し、その実現に向けた変革活動に着手している。 			

■各賞の概要

本賞	顧客価値経営を目指して変革を進めるモデルとして認められた組織
推進賞	顧客価値経営を目指して継続的に変革に取り組んでいると認められた組織
奨励賞	顧客価値経営を目指して変革に取り組んでいると認められた組織

受賞組織の概要は別紙、日本経営品質賞については参考資料をご参照ください。

【お問い合わせ先】(公財)日本生産性本部 <経営品質協議会サイト <https://www.jqac.com/>>

内容について: 日本経営品質賞委員会 橋本・渡辺 Tel: 03-3511-4017 / e-mail: jqa-info@jpc-net.jp

取材について: 広報戦略室 伊藤・粕谷 Tel: 03-5511-2029 / e-mail: jpcpr@jpc-net.jp